

【令和6年度に取り組んだ主な事業】

水都大垣の再生

水都大垣再生プロジェクト推進事業 6,016万円

「水都大垣」を感じられるよう、まちなかの公共空間をリニューアルするとともに、水辺を生かした各種イベントなどを展開しました。

- ・大垣駅南口井戸舟整備事業（2か所）
- ・水都大垣ブルーライトアップ
- ・水都大垣かわまちテラスなど開催



水の都おおがき水門川舟下り事業 2,010万円

水門川での「たらい舟」などによる舟下り事業に対し、補助金を支出しました。

まちの拠点づくり

大垣公園等再整備基本計画策定事業 3,693万円

「100年先も愛され続ける大垣のシンボルパーク」を目指した再整備に向け、専門家や市民の皆様のご意見を踏まえた基本計画の策定を行いました。

北公園基本構想策定事業 676万円

公園内の老朽化施設の長寿命化や、未供用区域の解消に向け、公園全体の再整備方針を策定しました。

東地区センター改築事業 7,201万円

老朽化が著しい東地区センターの移転改築工事に着手しました。
※令和8年4月開館予定



子どもの居場所づくり

子どもの職業・社会学習体験機会創出事業 981万円

キッザニアの監修のもと、地元企業の職業体験ができる「Out of KidZania in おおがき」を開催しました。



スクールサポートスタッフ配置事業 1,600万円

教員が児童生徒に向き合う時間を確保するため、簡易な事務作業などを行うスクールサポートスタッフを全小中学校に配置しました。

とまり木教室事業 761万円

家庭以外の人との関わりをもてていない不登校児童生徒が自宅から一歩踏み出す場として、フリースペース型適応指導教室「とまり木教室」を開設しました。

【基金の状況】

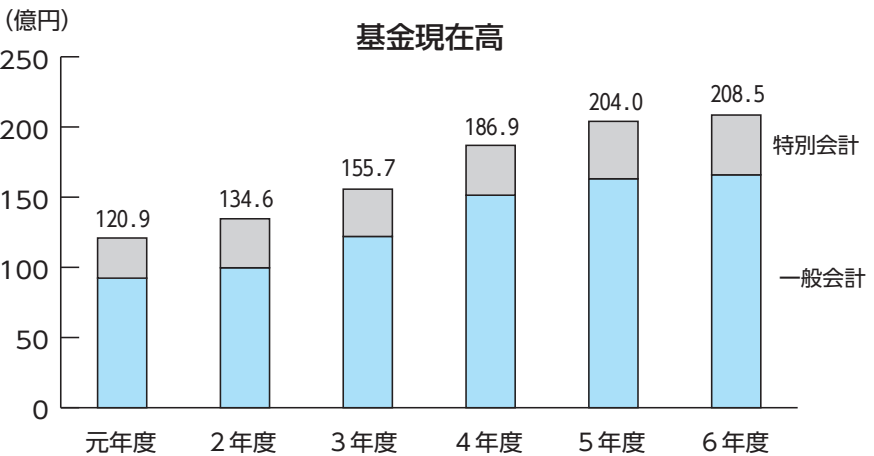
市民1人当たりは、令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口156,488人で算出しています

自治体の「貯金」にあたる基金の現在高は、一般会計と特別会計を合わせて208億4,597万円で、前年度より4億4,847万円の増となりました。

<主な基金残高>

- | | |
|--------------|------------|
| ・財政調整基金 | 96億6,780万円 |
| ・減債基金 | 20億4,352万円 |
| ・公共施設整備基金 | 25億3,922万円 |
| ・養老線支援基金 | 9億2,589万円 |
| ・競輪事業施設等整備基金 | 25億3,500万円 |

市民1人当たり基金残高 13万3,211円
(前年度より3,694円の増)



【市債の状況】

市民1人当たりは、令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口156,488人で算出しています

自治体の「借金」にあたる市債の現在高は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて955億2,061万円で、元金償還が進んだことなどにより、前年度より39億5,659万円の減となりました。

<6年度一般会計公債費（借入金返済）>

54億3,862万円（前年度比△1億7,107万円）

<6年度一般会計の主な借入事業>

- | | |
|----------------|-----------|
| ・お勝山ふれあいセンター改修 | 1億9,820万円 |
| ・道路整備 | 6億8,310万円 |
| ・排水施設等整備 | 2億7,110万円 |
| ・学校教育施設整備 | 7億9,460万円 |
| ・スイトピアセンター改修 | 3億8,290万円 |

市民1人当たり市債残高 61万402円
(前年度より21,243円の減)

